



社教NFTかわら版

中部教育事務所社会教育だより(NFT=network・footwork・teamwork)

中部教育事務所第14号
平成27年9月29日
主任社会教育主事
安部亮太郎・野村郁

★ 中部教育事務所管内の社会教育情報を発信します ★

特集 平成27年度PTA・教育行政研修会！

「ネットトラブル対策」「子どもとの接し方」「生活リズムの向上」
PTAで、できることは何だろう？(分科会)

「PTA・教育行政研修会」とは、PTAと行政(県教育委員会や市町村教育委員会)が、一緒になって「子どものためにできること」を考える研修会です。

中部管内3地区(吾川・高岡・土長南国)で話し合われたことを、まとめています。各单位PTAの活動の参考になると思います。ご活用ください。



分科会A 「ネットトラブル対策について」

分科会A「ネットトラブル対策について」では、最初に「ネットトラブルで困ったこと、犯罪や被害にあったこと等」について意見を出し合い、「PTAや家庭でできること」について話し合いを行いました。そして最後に、各グループ毎に「3つのルール」を決めました。「3つのルール」として各地区のグループより出されたものを、以下に紹介します。

①コミュニケーション・相談できる関係性を日頃から築く

○親子の会話を増やす。○トラブルになったときに親に相談する。○日頃から親子のコミュニケーションを深める。○見守り、相談体制を確立する。○親子で何でも話せる関係づくりをする。○いい親子関係を築く。○「声で伝える」を忘れない。

②親子で学ぶ

○危険性について親と子が一緒に学ぶ。○保護者が学習を深める。○人権感覚、モラルなど子どもとともに学ぶ。○親子で講習会を受ける。○犯罪や被害の実際を知らせる(学校・家庭)。○安全学習を行う(ハンドブック)。

③制限やルールをつくる

○使用マナーを家庭・学校で考えて決める。○人としてのモラルを守る。○親がしっかりと管理する。○ケータイの利用時間を決める(親子ともに)。○OPTA(単P)でルールづくりをする。○制限(夜9時以降の使用を禁止・フィルタリング等)をする。



分科会B 「子どもとの接し方について」

分科会B「子どもとの接し方について」では、昨年度、県生涯学習課が作成した「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」の資料(<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/310401/2015040900317.html> P31 2-5)を活用。「弥太郎くん、『人数が合わないからダメ』と言われてドッジボールに入れてもらえなかったことから、『学校に行きたくない』と泣いている龍馬くん」の話をもとに話し合いました。最初にロールプレイを行い、龍馬くんの気持ちや保護者の気持ちについて意見を出し合い、考えました。次に保護者として、どのように子どもに対応すればよいか考え、「日頃から心がけておくこと」について話し合いました。各地区での話し合いの内容をまとめて紹介します。

ワーク1:ロールプレイ

【龍馬くんの気持ち】

○悔しい。○はずかしい。○助けてほしい。○何も言いたくない。○分かってほしい。○どうせちゃんと聞いてくれない。○話しても解決しない。○本当は聞いてほしい。○知られたくない。○明日からの休み時間が嫌だ。○心配させたくない。

【保護者の気持ち】

○いつも元気なのに心配だ。○学校に行かなくなったらどうしよう。○腹が立つ。○理由が知りたい。○なんとかしてやりたい。○どう聞けばよいか分からない。



ワーク2:対応について

- 話を聞き、事実確認をする。
- 家族で話し、学校にも相談する。
- できるだけ自分で考えさせる。○自分で解決させるが、相手と学校で話し合う。
- 家族ぐるみの交流をもちかける。
- 弥太郎くんの保護者なら、子どもに相手の気持ちを考えさせ、相手の保護者に連絡し、親子で謝罪する。

日頃から心がけておくこと

○日頃のコミュニケーションを大事にする。○親子でいる時間を長くする。○TVのニュース等について話し合うようにする。○日頃から1日あったことを話す。○他愛もない会話にも耳を傾ける(話しやすい環境づくり)。⇒ 確かな親子関係を築く。⇒ 自尊感情、社会性、規範意識を育む。

○会話のキャッチボールを大切にする(ドッジボールではない)。○愛情を伝える。○スキンシップをする。○一緒に遊ぶ。○感情的にならず子どもの話を聞く。○子どもの話を受け止めるために、親のストレスを発散する。

○保護者間の人間関係づくり。○学校・PTA活動に参加し、つながりをもつ。○互いの子どもからの情報を共有する機会を持つ。○担任との連携を行う。

○親の姿を見せる。○できる約束をして必ず守る。○いろいろな経験をさせる。○やるべきことを示す。○ほめてのばす。○些細な出来事に対しても考えさせる。○感謝する心を育てる。

感想など

○つながることが大事。○子どもとのかかわりの時間を増やす。○子どもと向き合いたい。○子どもとの時間を大切にしていきたい。○できる限り食事の時間をあわせる。

○子どもの気持ちを考える。○子どもの世界観を大切にし、理解する。○もう少し優しくする。

○学校への相談を大事にする。○PTA活動に参加する。

○いろんな方向から考えられるようにしたい。○目配り、気配りができる子どもに育てたい。

○色々な考えが聞けて良かった。○知り合えた(いい出会い)。○聞いたことを試してみたい。



分科会C 「生活リズムの向上について」

分科会Cでは、県の健康長寿政策課と教育委員会(スポーツ健康教育課)からの15分間の説明の後、「家庭や学校、地域で取り組んでいること」について意見を出し合い、「PTAとしてできること」について考えました。その中から、出てきたことをひとつに絞り、「PTAとして取り組んでいくこと」として具体的な取組を考えました。

3地区で出た「家庭や学校、地域で取り組んでいること」と分科会でまとめられた「具体的な取組」について以下に紹介します。

家庭や学校、地域で取り組んでいること

家庭

- 「早ね早おき朝ごはん」の生活リズムチェックを行う。○生活習慣の話合いを持つ。○ノーテレビデーを行う。○生活調べを行う。○午後9時には就寝する。○寝る時間を決める。○携帯の使用時間を決める。○ルールを守らなければ携帯を没収する。○早ね効果のある電球色の蛍光灯を使用する。
- 一緒に食事をとる。○三度の食事をとる。○食事の大切さを啓発する。○バランスの良い食事をつくる。○子どもに合わせた朝食をつくる。○野菜をたっぷり食べる。○夕食の時間を早くする。○おやつを買わない。
- 外遊びをする。○できるだけ徒歩で移動する。○朝の運動をする。○毎日体重計にのる。

学校

- 「早ね早おき朝ごはん」の運動を推進する。○あいさつ運動を行う。○生活リズムチェック表を活用する。○ノーテレビデーを実施する。○アンケート調査を行う。
- 食の指導を行う。○栄養士に授業をしてもらう。○食育を推進する。○農業体験をする。
- 親子研修会を行う。○教育講演会を実施する。
- 保健委員会で取り組む。○保健だよりで発信する。○歯みがき指導をする。
- 運動会における課題種目を工夫する。○朝のランニングを行う。
- 保幼小中の連携を進める。



地域

- ラジオ体操をする ○歯磨きを励行する。○フツ化物洗口を実施する。○広報や家庭サポートを行う。

話し合われた「具体的な取組」

- 「親子で決めよう『我が家の一週間』(パーソナルアクションタイム)」
※親の成長を促す。食育、子育てを支援する。コンテストで表彰する。
- 「町や学校区で『一緒に朝ごはん』」
※食の大切さを学ぶ。生活リズムを向上させる。親子一緒につくる、食べる。
- 「親たちも学ぼう 保小中、家庭と学校の連携 価値観の共有」
※具体的な根拠をもとに、子どもの実態から学ぶ。親子と一緒に学ぶ。



全体会 高知県教育委員会からの説明

○生涯学習課より

「高県教育振興基本計画 重点プランについて」(「知・徳・体」向上のための施策と現状について)

○人権教育課より

「安全に使おう! ケータイ・スマホ ~子どもたちをネットトラブルから守るために~」

- ・高知家の子どもたちがいじめで苦しむことのない社会づくり宣言について
- ・ネット犯罪・ネットいじめ・ネット依存について
- ・ネットフォーラム一次案内(ネット問題から子どもを守るPTAの実践発表あり)

※平成27年10月25日(日)12:30~ 太平洋学園高等学校体育館

○中部教育事務所より

「中部教育事務所管内の状況」

(中部管内の学校数・児童生徒数、学力や生徒指導上の諸課題の状況・児童生徒の生活等の状況について)

※当日配布資料を、各単位PTAで報告いただき、研修会などでご活用ください。

中部管内 児童生徒 家庭での学習や「つながり」について

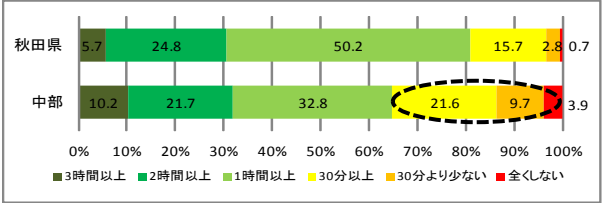
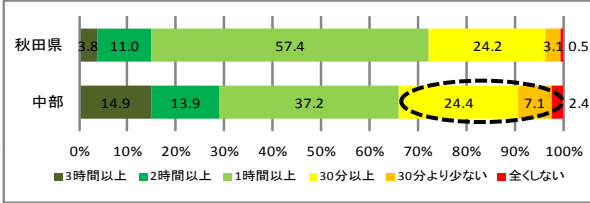
平成27年全国学力・学習状況調査結果(平成27年8月25日文部科学省公表結果含む※一部表記省略)より

全国・学力学習状況調査の質問紙の中で、児童生徒の家庭学習状況や地域・社会との「つながり」に関係のある項目を抜き出して、全国学力・学習状況調査で優れた成果をあげている秋田県と比較してみました。参考にしてください。

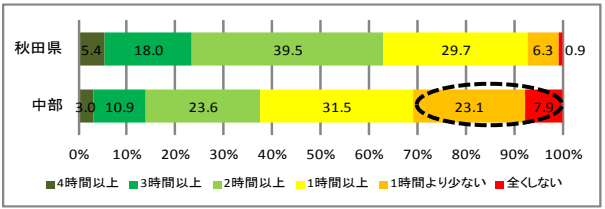
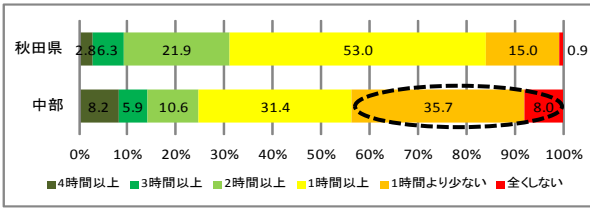
小学校6年(平成27年度)

中学校3年(平成27年度)

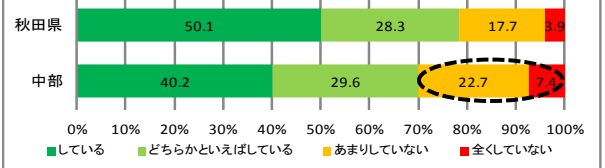
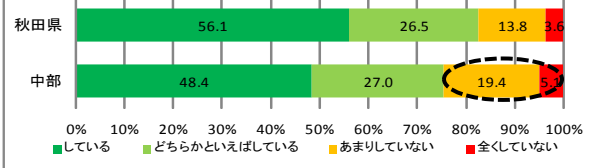
(13)学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間勉強しますか。



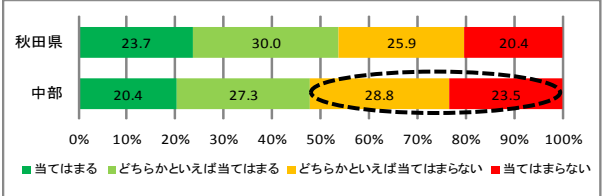
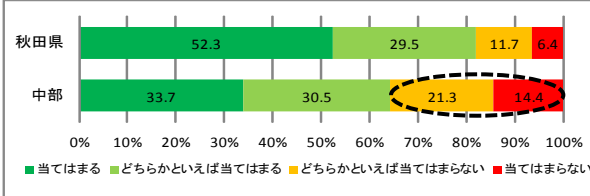
(14)土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。



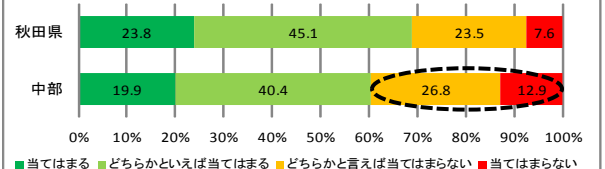
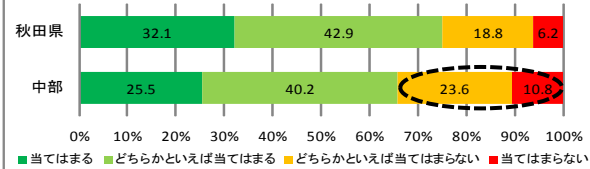
(18)家の人(兄弟姉妹を除く)と学校での出来事について話をしますか。



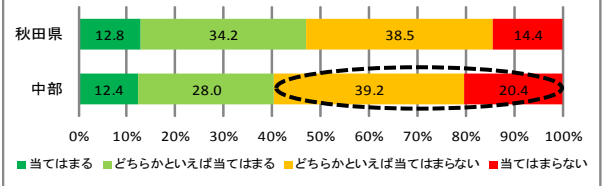
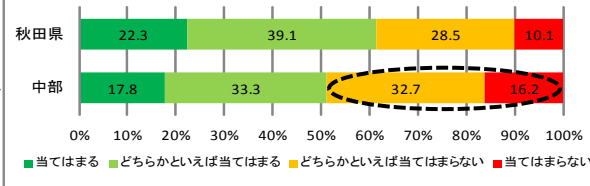
(27)今住んでいる地域の行事に参加していますか。



(28)地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか。



(29)地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか。



中部管内(平均)の児童生徒(小6・中3)は、秋田県の児童生徒に比べて

- ①家庭での学習時間の少ない児童生徒が多い。
- ②特に、土曜日・日曜日に学習時間の少ない児童生徒が多い。
- ③家の人と話す割合が少ない。
- ④地域の行事への参加が少ない。
- ⑤地域や社会で起こっている問題や出来事への関心が低い。
- ⑥地域や社会をよくするために何をすべきかを考える割合が低い。



中部管内の家庭教育について考えさせられる結果となっています。上記データは、各単位PTAが学校と連携し、家庭教育について考える際の資料として活用できるのではないかと思います。ぜひご活用ください。

☆たくさんの感想ありがとうございました。☆

○初めて参加させていただきました。これだけ大きなPTAの会への参加は今までになかったのですが、ドキドキしましたが、大変良い勉強をさせていただきました。参加をして良かったと思っています。ありがとうございました。

○まず、参加者の多さに驚きました。高岡地区の保護者や先生方、行政の方々の教育に対する熱心さが伝わってきました。全体会では、現在の高知県、高岡地区の子ども達の状況が分かり、分科会では、他の保護者の方々や先生の意見から考えさせられる事や新しい考えが吸収できて良かったです。実りある時間でした。ありがとうございました。

○分科会がありとても緊張しましたが、自分の意見も言って他の皆さんの意見もたくさん聞いてとてもいい勉強になりました。ありがとうございました。

○分科会でとても参考になる意見をたくさん聞くことができました。実りのある研修会になりました。

- 色々な気付きがあり参加してよかった。
- 自分の地域外の方とお話するのは、参考になることが多いと感じます。
- 他の市町村の取組がよく分かってよかったと思います。

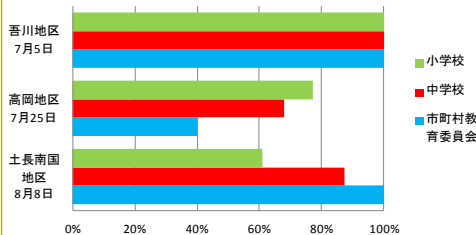


○分科会は良かったです。単Pでの取組として推進して行きたいと感じました。短い時間でしたが、メンバー同士が活発に意見交換できました。この方法で単Pでも取り組めば横のつながりも充実して来るはず！！

○分科会2時間は長いようで、短かったです。もう少し話をしてみたかったです。発表も全グループだと、時間をとってしまうので…。運営は大変だったと思います。ありがとうございました。

○単位PTAへのより一層の参加の呼びかけ(特に事務局ではなく会員への参加を呼びかけ)、意見交換が行われるといいなと思いました。人と人とのつながり、声かけあって一緒に参加！がいいですね。

PTA・教育行政研修会(3地区)
各地区の学校数や市町村教育委員会の数に対する参加率



☆毎年、参加者も増加傾向！

☆当日アンケート結果も改善！

☆一般会員の参加も増加！

☆市町村教育委員会の方の参加も増えています！



担当より

平成27年度PTA・教育行政研修会への参加・ご協力ありがとうございました。毎年参加者数も増加傾向で、今年度は、昨年度に比べ一般会員の方の参加も増えました。当日アンケートの結果も肯定的なものが増えています(上に記載したような肯定的な回答が毎年寄せられています。)当日の内容について、各単位PTAの会で報告していただくとともに、来年度への参加呼びかけもしていただけましたらと思います。「かわら版」の情報も含め、各地域のPTA活動に、ぜひご活用ください。

地域の活動情報をお知らせください

中部教育事務所では、生涯を通し学ぶ喜びに満ちた教育的風土づくりを進めるために、各市町村の社会教育委員会やPTA、その他の社会教育諸団体と連携を図りながら支援助言を行っていきます。

また、情報収集に努め社会教育に役立つ情報を発信していきますので地域の活動等情報がありましたらお知らせください。

連絡先: 高知県教育委員会事務局中部教育事務所
TEL 088-893-6166 FAX 088-893-6167
E-mail 310305@ken.pref.kochi.lg.jp
担当: 安部・野村